

春の農機展示会を開催

3月8日(月)と9日(火)に追分農機センターで、11日(木)と12日(金)には雄和農機センターで春の農業機械展示会が開かれ、農機センター内にトラクターや田植え機、管理機などが並びました。春作業を目前に控えた生産者が多数来場し、最新型の農業機械に見入りました。

農機センターの職員やメーカーの担当者の説明に耳を傾け、農業機械の性能や操作方法を熱心に質問する姿が多く見られました。播種機のコーナーでは種まきの間隔や作業手順を尋ねた来場者に、担当者が機械の部分やパンフレットを見せて答えていました。

播種機の説明を聞く生産者



花き部会男鹿支部販売実績2億円超

3月8日(月)、花き部会男鹿支部の実績検討会が男鹿地区営農センターで開かれ、生産者や関係機関ら約30名が令和2年度の販売実績を確認しました。同支部では菊類を中心に424万本を出荷し、2億185万円を販売しました。小菊の販売額が1億708万円と最も多く、輪菊が次いで8501万円に上る実績となりました。

同日に開催した講習会では、次年度の栽培に向けて土壌や親株の管理方法、病害虫防除などを学びました。イノチ才精興園(株)からは今年の栽培における注意点を、農事気象予測を踏まえながら解説していただきました。

気象予測を踏まえて病害虫対策を学ぶ参加者



NEWS & TOPICS

ナシ黒星病対策を学ぶ

3月9日(火)、(一社)秋田県果樹協会による県中央地区の生産者を対象にした果樹講座が、男鹿地区営農センターで開かれました。病害虫の被害を抑えて生産量を維持するため、ナシ黒星病などへの対策を学び、今年の栽培へ意欲を高めました。

県果樹試験場天王分場の長澤正士主任研究員を講師に迎え、ナシ黒星病の特徴や発生条件、効果的な薬剤の組み合わせや落葉処理の方法などを確認しました。

参加した生産者からは最近の紫変色障害の発生状況や樹勢の維持、果実の色つきなどについて質問が上がりました。

ナシ黒星病の病斑例を学ぶ生産者



令和2年度に資格を取得した職員を表彰

3月12日(金)、資格取得者表彰式がJ A秋田なまはげ会館で行われ、それぞれの業務に係る資格や免許の取得、検定などの合格を令和2年度に果たした職員が出席しました。吉田文勝副組合長から資格認定証や合格証を受け取り、円滑な業務の遂行やさらなるスキルアップへの意識を高めました。令和2年度は69人の職員が新たに資格などを取得し、複数の検定などに合格する職員も見られました。

令和3年度も引き続き職員の能力や知識、自己研鑽への意欲の向上に努めて、職員の育成に尽力していきます。

資格認定証を受け取る職員

